

平成 30 年度南海トラフ地震対策に関する調査票

法人名 【社会福祉法人 太陽福祉会】 事業所名 【就労継続支援 B 型事業所 第 2 太陽福祉園】

1. 自宅被害（津波浸水被害）

※津波浸水地域における被災状況（高知県防災マップが示す最高水位）

被害状況	最大浸水	入所利用者	通所利用者	職員
被害なし			17	5
床下浸水	0.5m 以下		3	2
床上浸水	1.0m		1	1
木造家屋の半数が全壊	2.0m			
木造家屋の殆どが全壊	3.0m			
2 階建ての建物が水没	5.0m 以上			
3 階建ての水没	10m 以上			
合計			21	8

※通園児童は調査対象から除く

2. 施設被害

※津波浸水地域における被災状況は（高知県防災マップ参照）

- ① 施設建屋の損壊（極めて高い・**高い**・中・低い）

浸水…敷地内被害無。

建物被害…倒壊の恐れは少ないが、地盤沈下等傾きが予測される。

- ② 進入道路等の損壊（極めて高い・**高い**・中・低い）

被害想定：市街地との間に川があり、橋の崩落等が心配される。

3. 準備状況（通所者 33 名、職員 15 名を想定）

- ① ライフラインの確保方法（電気、熱（ガソリン他）、水）**有**・無

電気	カセットボンベ発電機 2 台（第 1、第 2 共用） LED 懐中電灯 1 個
燃料	公用車ガソリン
ガス	プロパンガス（大型ボンベ 2 本・5kg2 本）
飲料水	2L×6 本×5 箱（第 2）20 名 1 日分
生活用水	井戸水

- ② 非常食糧・医薬品等の保有状況（主食、副食、医薬品、他）**有**・無

主食	アルファ米 40 食（第 2）20 名 2 食分
副食	なし
特別食	なし

定期薬	なし
医薬品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常使用する医薬品</li> <li>・個人用のものは個別に保管</li> </ul>

③ トイレの準備状況

- ④ 通信手段（無線機、衛星電話機、安否確認システム、他）有 ・ 無  
種類・メーカー・電話番号等

衛星電話	なし
MCA無線	2台（第1、第2共用）
無線機	なし
安否確認システム	なし
その他	携帯電話3台 Twitter 171 災害伝言ダイヤル

- ⑤ 利用者情報の管理方法（障害に対する留意事項、服薬含む）有 ・ 無  
事業所内サーバー、紙資料

- ⑥ BCP策定の有無（利用者の安否確認含む）有 ・ 無

⑦ おすすめの備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

- ・〇〇園のフリーズドライご飯（カレー、ピラフ、五目チャーハンなど種類が豊富で味も良い。ただし値段はやや高め。）
- ・燃料を必要としない移動、運搬具として自転車、リヤカーを整備

残念だった備蓄品、整備品（簡単に理由もご記入下さい）

- ・布団の包装が密閉ではなかったため、虫が混入して卵を産んでいた。

4. 避難場所

自施設が壊滅的な被害を受けた場合

- ① 障害者支援施設とさ
- ② 土佐市高齢者福祉センター
- ③ 高岡中学校
- ④

5. 福祉避難所の指定

- ・受けている 受けていない

以上